

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:2月1日

事業所名:きらり倉敷

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0		
	②	職員の配置数は適切である	7	0		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1	それぞれの部屋にマークをつけることで、視覚的に知らせている。幼児用の机や椅子があるが、個別スペースや座って遊べるマットなので落ちて置いて過ごせる環境作りをしている 部屋マーク(星やりんご)がもう少しわかりやすくても良いと思う。現在は扉などに書いていないため。	・設定活動部屋前(壁)に活動を示すイラストを掲示し、自身で理解して移動できるように設定を見直す。 ・児童の身長、体型に合う椅子を準備し、課題に取り組みやすい環境を見直す。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	目標管理シートを作成して、定期的に管理者との面談が行われている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	ホームページにて公開されている。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	0	定期的に第三者評価が行われている。(去年行われた。)	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	法人内の研修が多い	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	太田ステージ評価、遠城寺式乳幼児分析的発達検査を実施している	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	担当者が立案し、朝礼や終礼で共有している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2	夏祭り、ハロウィンなど、季節のイベント活動を設定している。 そこまで休みによる差を意識できてない。	毎週土曜日(休日)のみの開所日であるため、利用時間や活動内容に変化を設けていないが、長期休暇前後の生活の変化等を考慮し、活動の内容の調整を行えるように気をつけていく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7	0		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	7	0	毎日8:45からの朝礼で職員それぞれの動きを確認している。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	毎日16:15より終礼を行い、振り返り、情報共有が出来ている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	ケアコラボ(電子連絡帳)にて記録を残し、職員間で共有している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0		
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7	0		
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0		
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	1	・学校訪問を行ったり、送迎時、ケアラボにて保護者を通して情報共有を行っている。 ・園（幼稚園、保育園等）に比べ、学校との関わりは少ないように思う	・学校訪問や学校の支援計画を保護者と共有させていただき、保護者より学校の様子を伺う等により、情報共有に努める。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			該当なし	
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	0		
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	4		学校を卒業するケースがまだないが、今後あれば情報提供を行う
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	同法人内の放課後等デイサービスへ実習へ行かせていただき、色々な助言を受けた。	
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	4		
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4	3	わからない	参加職員が内容を他職員へもわかるように伝達を行う。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	送迎時やケアラボにて情報共有を行っている。また、必要に応じて懇談の場を設けており、課題については全職員で話し合ったことを保護者へお伝えしている。	
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	1	今年度放課後等デイサービス利用児の参加希望者はいなかった。	
保護者への説明責任等	⑳ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1	私はあまり理解できていない	
	㉑ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	必要に応じて懇談の場を設けている。	
	㉒ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4	保護者同士が関わる場を設けられていない。今後、保護者同士の関わりがある活動を設定できるといいなと思う。	きりり倉敷自体に保護者会、家族会等はないが、コロナ禍に入り、なくなった座談会等も順次再開していく。
	㉓ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	苦情があった場合、迅速かつ適切に対応するよう努めていく。	
	㉔ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0		
	㉕ 個人情報に十分注意している	7	0	ファイルの名前が保護者から見えない向きに置いたり、業務日誌を職員室へ常に片付けるなどの注意を払っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0		
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	1	秋まつりを行ったり、沖ベースで小学生に事業所を開放したりしている。	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	マニュアルが職員室の壁にかかっており、すぐ手に取れるようになっている。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1	毎月想定を変えて避難訓練が行われている。平日に実施しており放デイの児童には実施できていない	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	毎年研修が行われており、振り返りをすることが出来ている。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1	現在拘束を行う必要の児童がいないため	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0		
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	毎日終礼にて報告、情報共有を行い、報告書をあげている。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。